



服部ひさ子さん作

ほうきさん

2018年 5月

原稿 673 存仁寺

かの如來の
本願力を
觀するに
凡愚遇うて
空しく
過ぐるもの
なし

「入出二門偈」

一 聞 法 一 より深い人生は、ただみ教えを聞くところにひられる

書類の提出に出かけました。係の方から控えの部屋に通され、住所、氏名、生年月日など記入して、しばらく対応してくださった方と雑談をしていますと、同世代ということ、私が住職と聞かれて、「こんなところで、お尋ねします、仏壇についていつ入れるのですか」とおっしゃいました。訳を尋ねますと、自分は次男で兄が家を継いでいること、若い頃母親が逝去、昨年父親も逝去されたとのこと、実家では法事のお参りや、墓参りもしているとのことでした。ご質問を受けたので、「仏壇を入れるのはいつでもいいのですよ」とお答えしました。「でも、宗派によって違いもあるのでご実家のお寺さんにご相談されたいですし、何より仏壇を入れるということだと家族の方にもご相談されたいですね」という話から、仏事や仏教の話となりました。浄土真宗では、仏壇は先祖さんや亡くなった方を祀る場所ではなく、阿弥陀如来をご安置させていただくことで、私のいのちの依りどころとなつてくださいます。仏とはインドの言葉ブツダを音写、漢字にあてはめたもので「目覚めた方」というのが本来の意味であり、さとり目覚めたお釈迦さまの教えにより、私たちも目覚めさせていただくということです。死んでからの教えや祀り方ではなく、仏教は、私の生きる智慧の教えです。しかし、葬式仏教といわれます。これも身近な方の死を通じて、無常なる現実の中に生きているお互いの「いのち」をみつめ、この人生を生きることの意味、生まれどこへ向かっていくのかを聞かしていただく縁となるものです。死んで終いというなら空しい結果に向かって生きることにしか見えないですね。・・・など。「ああ、そうなのですね。いいこと聞かせてもらいました」と待合での時間が、ご法座のひと時となつたことに、出合いの尊さ、こんなご縁もあるのだなあと感じたことでした。日常の中に生きてはたらくのが仏法の教え、あなたもご家庭で味わっていることをお伝え下さい。

「かの如來の本願力を觀するに」

凡愚遇うて 空しく過ぐるものなし

今月の言葉は、親鸞聖人がお造りになつた『入出二門頌』という偈頌(うた)の一節で、「かの如來の本願力を觀するに凡愚遇うて空しく過ぐるものなし。一心専念すれば、速やかに眞実功德の大宝海を満足せしむ」と続いている。ご文の前半のお言葉です。これは七高僧のひとり、インドの天親菩薩の『浄土論』のご文「阿弥陀さまの本願力(救済力)を心に思ひうかべてみると、浄土に往生して阿弥陀さまに出遇いながら、仏道を完成することがないままに空しく時を過ごすというものはけつしてありません。阿弥陀さまはその本願力によって、すみやかに宝のような功德を満足せしめて、私たちをさとりに至らしめてくださるのです」というご文が依りどころとなっています。

親鸞聖人は「浄土論」のご文に感銘を受けながらさらに、今すでに阿弥陀さまに出遇っているから、決して人生を空しく過ごすことはない。阿弥陀さまが、大悲の心をもつて私たちを「南無阿弥陀仏(かならずたすけるぞ、我にまかせよ)と喚んでくださいます。その声をはからいなく聞いておまかせしているものは、もうすでに阿弥陀さまにお出遇いし、浄土に生まれることは決定しているから、空しく生死(迷い)の世界に留まることはないのです。浄土真宗の教えは、善人も悪人も、賢き人も愚かな人も、富める人も貧しき人も、お年寄りも若い人も、男の人も女の人も、まったくわけへだてすることなく、ただ阿弥陀さまの本願を素直に聞き入れる時、すみやかに阿弥陀さまの救いのみ手の中に摂めとられます。たとえ汚れた川の水であっても、海はその川の水をわけへだてなく受け入れて同じ一つの塩味に変えなしていくように、さとりの障りとなる自己への執われ(煩惱)も、そのまま転じてさとりの(自他の分別を超えた世界)の功德に変えなして、私たちにとりの功德を与えてくださる、ということなのです。このような阿弥陀さまの大悲のお心に聞きふれた人にとって、どんなに辛いこと、悲しいことがあつたとしても、けつして「空しい人生」ではないのですよ、と教えてくださったのです。

5月の行事

- 1日(火) 6時30分 おあさじ
 3日(木) 14時00分 コーラス(善覚寺様にて)
 13日(日) 10時 仏教婦人会役員班長会義
 16日(水) 6時30分 おあさじ
 24日(木) 13時30分 無量寿会例会
 26日(土) 19時 仏教壮年会総会

宗派・教区・鈴鹿組関連 5月・6月

- 5月 7日(日) 鈴鹿組組会 13時30分芸濃庁舎
 12日(土) 鈴鹿祖仏教婦人会会長会議
 専念寺 10時00分より
 17日(水) 東海教区門徒推進員会 名古屋別院
 24～25日 第2連区仏教婦人会ブロック大会 富山
 25～26日 第2連区門徒推進員研修会(高岡)
 6月 1日(金) 東海教区仏教婦人会連盟・寺院女性連盟
 総会・研修会 名古屋別院
 3日(日) 鈴鹿組ご縁ウオーク専念寺
 10日(日) 鈴鹿組仏教婦人会ビハーク活動
 亀寿苑 10時～11時30分
 鈴鹿組聞信会総会・研修会
 11時～ 存仁寺
 30日(土) 鈴鹿組連研準備会・門推会合

- 6月3日(日)「鈴鹿組ご縁づくり ササユリの里散策」
 10時から13時 専念寺様・ササユリの里
 参加者に3年ものササユリの苗プレゼント

お寺でヨガ!!! 今月はお休みです。来月は2日(土)



17時より19時まで
 どなたさまも心と体の
 リラクゼーション
 にお越しください

世話方会

永代経法要後に
 片づけをして
 いただき、17時
 から新しい顔ぶれ
 で世話方会でした。



平成29年度会計決算報告、今年度行事、予算など審議
 されました。田植えのご多忙中ありがとうございました

総代会・世話方会より 5月、護持経費前期分(または全納、
 積立金)徴収させていただきますこと、お願い申し上げます。

6月の行事

- 1日(金) 6時30分 おあさじ
 2日(土) 8時 マキ刈り出合い
 17時 寺ヨガ
 7日(木) 13時30分 コーラス
 10日(日) 13時30分 蓮如忌法要
 16日(土) 6時30分 おあさじ
 18日(月)～19日(火)

鈴鹿組仏壮念仏奉仕団 本願寺

夏の法座《蓮如忌法要》

6月10日(日) 午後1時30分

ご法話 名古屋市 有隣寺 祖父江佳乃師
 高座による節談説法です

存仁寺の寺号を蓮如上人からいただき、
 今日迄大切にみ法が受け継がれてきました。
 「一人でも信をとれ」との常の蓮師の仰せを受
 けとめつつ、ご聴させていただきます

お念仏のひろば ご案内

毎月17日津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」
 5月17日(木)『おしょうしんげ』アゲイン
 本願寺派布教使 福田正朗師 (聴講費700円)
 5月22日(日) 降誕会法要午後2時から4時
 正親一宣副住職・津児童合唱団

合同墓建碑法要 4月28日(土) 永代経法要に先立
 って建碑法要をおつとめさせていただきました。



多くの方がお参り
 ご焼香されました。
 石の中原さんより、
 参拝の方に記念品
 が渡されました。



伊勢亀鈴会様より
 駐車場の看板を
 新しくしていただき
 きました。すっきり
 見やすくなりました
 ありがたいことです

お墓参りのお花は各自で処分お願いしてます。
 諸事情で置いて行かれる方は分別にご協力下さい。